



# 2018

横浜市立大学 ボランティア支援室

# 報告書

## 2018 年度学生ボランティアを派遣した活動例 (抜粋)

行政からの依頼					
客船入港時おもてなしボランティア	入港した客船乗客の観光案内等	横浜市政策局	単発	4月27日、7月11日 8月2日、10月7日	9名参加
よこはま教育実践ボランティア	市立小・中学校での授業サポート等	横浜市教育委員会	継続	4月～3月	3名参加
スマートイルミネーション横浜 2018	会場運営・準備・撤去などのサポート	横浜市文化観光局	単発	10月31日～11月4日	6名参加

地域団体等からの依頼					
よこすかカレーフェスティバル	来場する子ども向けのブース出店	横須賀市市民活動サポートセンター	単発	5月19・20日	11名参加
よこすかYYのりものフェスタ	来場する子ども向けのブース出店	横須賀市市民活動サポートセンター	単発	6月9・10日	3名参加
伊那谷子ども村サマーキャンプ	キャンプ場での子ども支援	野外教育研究財団	キャンプ	7月14日～8月31日	3名参加
県央療育センターサマースクール	発達障がいを持つ子どもの日帰り行事	県央療育センター	単発	8月16日	1名参加
釜利谷高等学校土曜教室	高校生向け学習支援	県立釜利谷高等学校	継続	5月13日～2月24日	1名参加
かもめ教室夏休みボランティア	外国につながる小中学生の学習支援	金沢国際交流ラウンジ	継続	7月23日～27日 8月20日～24日	1名参加

学内からの依頼					
Aozora Factory	運営スタッフボランティア	芦澤ゼミ	単発	10月20日	24名参加
留学生のためのチューター	留学生対象ボランティア	グローバル推進課	継続	4月～5月	3名参加
留学生の入門日本語教室	留学生対象日本語授業ボランティア	鈴木綾乃 特任准教授	継続	4月～1月	12名参加
金沢八景・東京湾アマモ場再生会議	アマモの生育サポート	塩田肇 准教授	単発	4月30日、5月20日、7月30日 10月20日、11月10日	19名参加

ボラ室企画プログラム					
オリンピック・パラリンピックボランティア説明会	東京 2020 大会ボランティア説明会	ボランティア支援室	単発	10月15日	91名参加

## 横浜市立大学 ボランティア支援室

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2  
YCUスクエア1階カウンター&2階S27「Volounge」  
Tel:045-787-2444 Fax:045-787-2093  
Mail: volunteer@yokohama-cu.ac.jp



ボランティア支援室 HP



ボランティア支援室 FB



ボランティア支援室 Twitter

公立大学法人横浜市立大学ボランティア支援室 2019年3月発行





# ボランティア支援室のご紹介



## ■横浜市立大学独自のボランティア参加のしくみ

横浜市立大学ボランティア支援室では、地域の方々からのボランティアの依頼を取りまとめ、学生にポータルメールやSNS、「学生マイページ」等で随時お知らせしています。ボランティアに参加したい学生にはボランティア登録を義務付けており、登録すればいつでも「マイページ」から、募集中のボランティアを検索することができます。

希望する活動が決まったら必ずその活動の「リスト番号」を、来室かメールでボランティア支援室に問い合わせさせていただきます。それによりボランティア支援室のスタッフが、学生と直接顔を合わせて、もしくはメールで先方の連絡先や活動の詳細を伝え、相談に対応するなど学生に寄り添ったサポートが可能となっています。

## ■学生のキャリアを見据えたボランティアのサポート

ボランティア支援室では、「学生がボランティア活動をすることで、地域の課題解決やさまざまな年齢・環境の方々とのコミュニケーションの実践経験を積み、自らのキャリア形成に役立ててもらおうこと」を目指しています。ボランティア登録と「活動届」の提出、また各団体様の団体登録と「活動依頼書」のご提出により学生の活動履歴を残し「ボランティア証明書」を発行しています。学生は、この証明書を就活等の場面で利用することも可能です。

また、ボランティア支援室独自に「ボランティア実践講座」や「ボランティアをキャリアにつなげるワークショップ」「オリ・パラボランティア説明会」等を企画・実施して、さまざまな角度から学生自身の学びをサポートしています。

## 2018年度のボランティア支援実績

ボランティア登録学生数・派遣学生数・ボランティア依頼数実績

2019年3月15日現在

年度	新規登録学生数	派遣学生数	ボランティア依頼数
2015年度計	164名	349名	181件
2016年度計	259名	235名	140件
2017年度計	327名	443名	287件
2018年度4月～3月15日計	362名	487名	253件
累計	1112名	1514名	861件

※ボラ室が開設した2015年1月15日～3月分は2015年度計に計上 ※2015年～2017年度卒業生183名含む

2018年度 学生相談件数(来室相談)/390名



ボラサポ  
REPORT  
4月

## 新入生に向けたボランティア支援室の新歓キャンペーン活動 はるボラ2018

◆4月5日～5月16日/ボランティア支援室等

- 「新入生オリエンテーション」4月5日/新入生約1000名対象
- 「ボランティア支援室説明会」4月19日、5月16日/計60名参加
- 「小中学生の学習支援ボランティア説明会(横浜市共創推進課の支援事業)」4月25日/10名参加
- 「金沢消防団説明会」4月26日/16名参加

2018年の新入生を対象に新歓キャンペーン活動を実施。入学式後のオリエンテーションやボランティア支援室の説明会では、本学におけるボランティア参加方法の説明や地域活動の際に気をつけなければいけないこと、現在募集中の活動の紹介などを『学生ボランティアマニュアル』を配布して説明した。新入生はもちろん上級生も参加し、その結果4月のボランティア登録学生数は154名に上った。

## 初めてボランティアに参加する学生のための、「3Step ボラ講座」 第3回ボランティア実践講座 Step1

◆4月24日/YCU スクエア Y203

- 「Step1 ボランティア基礎講座」4月24日/26名参加
- 金沢区社会福祉協議会と連携した、ボランティア支援室主催のボランティア初心者向け講座。Step1で「ボランティア基礎講座」、Step2で実際に区内の地域ケアプラザ等で実施されている活動に各自参加し、Step3で「振り返りワークショップ」を行うという、3ステップのプログラム。
- Step1では、ボランティアに行きたいが、実際どのようにコミュニケーションを取ればいいのか…といった不安や疑問を解消するために、先輩の経験談を聞くグループワークなどを行った。



ボラサポ  
REPORT  
4月

# Volunchの活動

## ボランティア支援室学生スタッフ Volunchの新学年始動！ 新歓活動

Volunch  
活動  
4月

◆4月9日～24日/ボランティア支援室等

- 「学生スタッフVolunch説明会」4月9日、12日、18日、24日/計51名参加
  - 「ボランティア支援室学生スタッフVolunchメンバー」新規加入者22名
- ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」は部活でもサークルでもない有志団体で、学生とボランティアをつなぐための活動をしている。2018年度は新入生22名が参加し、合計30名が活動を行った。



Volunch  
活動  
4月



## Volunchメンバーと一緒に、ボランティア初体験 第1回ボラツアー「鎌倉路地フェスタ」

◆4月21日～30日/鎌倉市二階堂周辺

- 「SNS情報発信ボランティア」18名参加
- 「拠点ボランティア」3名参加

2018年度第1回目のボラツアーでは、路地フェスタ参加店舗を巡り取材をしながら『鎌倉路地フェスタ公式ツイッター』に投稿するSNS情報発信活動と、点在する各拠点でのサポートを行った。鎌倉という古都の趣やまちの方の温かさに触れることができ、貴重な体験となった。



ボラサポ  
REPORT  
5・6月

## 第3回ボランティア実践講座 Step2・Step3

- ◆金沢区内地域ケアプラザ等、シーガルセンター会議室
- 「Step2 ボランティア体験」5月4日～6月9日 / 延べ52名参加
- 「Step3 振り返りワークショップ」6月11日 / 14名参加

Step2 では区内の各ケアプラザなどで行われる、37の福祉関連プログラムから、各自行きたいものを選んで参加。

Step3 では経験を共有して言語化・文字化する「振り返りワークショップ」を行った。

2018年度は「障害児・者支援」「高齢者支援」「学習以外の子ども青少年支援」のジャンルで延べ118名がボランティアとして活動し、学生には少々ハードルの高い福祉関係のボランティアへの関心を高める成果があった。



ボラサポ  
REPORT  
5月

## 世界から注目される国際大会で、 通訳&受付・誘導等の活動に参加！ 2018 ITU世界トライアスロンシリーズ 横浜大会

◆5月12日・13日 / 山下公園周辺特設会場

- 「語学ボランティア」5月12日 / 2名参加
- 「一般ボランティア」5月13日 / 13名参加

トライアスロンの世界大会で、15名がボランティアとして活動。語学ボランティアは、怪我等で救護テントに来る外国人選手とドクターとのコミュニケーションサポートを、一般ボランティアは選手受付、通行補助、表彰選手の呼び出しなどを行った。

スポーツをするのは「アスリート」、見るのは「観客」、支えるのは「大会の運営組織」と「ボランティア」。この『支え』なくしてスポーツは成り立たないことを実感した。

ボラサポ  
REPORT  
8月

## 未来を担う、意欲満々の小学生をサポート 第4回 子どもプログラミング教室

◆8月18日 / 情報教育実習室 E

- 小学生のためのPC操作サポート・講師ボランティア / 9名参加
- 2020年度から小学校で必修となる「プログラミング教育」を前に、意欲の高まる小学生を対象にした金沢区との共催イベント。「PC部Clip」の学生ら9名がボランティア講師を務めた。子どもたちを取り巻くICT環境は変化しており、保護者の方には「子どもに聞かれても答えられるのか?」といった不安があるようで、家族の見学も多かった。



ボラサポ  
REPORT  
8月

## 夏を彩る花火の夕べに、 次年度開催のための募金活動 金沢まつり花火大会

◆8月25日 / 海の公園

- 募金ボランティア / 18名参加

金沢区制70周年を記念し、4,000発の花火が打ち上げられた金沢まつり花火大会。揃いの青いTシャツを着て、18時から打ち上げが始まる19時までの1時間と、打ち上げ終了後の約40分、グループごとに指定された場所で募金活動を行った。

この日は大学生だけでなく幅広い年齢の地域の方々もボランティアに参加しており、1年生も優しく声をかけてもらいながら活動できた。集まった募金は、2019年度の打ち上げのために使われる。

## 東京オリンピック・パラリンピックでボランティアをやりよう！ スポーツ・ボランティアセミナー

◆5月25日 / YCU スクエア・ピオニーホール

- 「～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～市居愛さん講演会」計100名参加
- 最終的な目標を「オリンピック・パラリンピックのボランティア参加」としているVolunch「オリ・パラ企画」グループ。そのための情報や知識を得るために、実際にオリンピックでボランティアをされた市居さんに、活動体験等具体的なお話しをしていただいた。当セミナーは「東京2020参画プログラム」「金沢区区制70周年事業」にも承認され、一般の方の参加も募り延べ100名の参加があった。

Volunch  
活動  
6月



## 子どもたちの学びをお手伝い 第2回 ボラツアー「子ども大学よこはま」

◆6月24日 / 横浜国立大学

- 「活動補助ボランティア」/ 5名参加

2018年度第2回目のボラツアーは、地域の子どものために大学の先生や専門家による学びの場を提供している「子ども大学よこはま」による授業の受付や片付けのサポート。授業中は子どもたちと一緒に養老孟子先生の講義を聞くことができた。ボランティアでは、普段お会いできない方に会える、入れない場所に行けるなどのメリットもあり、学生にとって貴重な経験となる。

Volunch  
活動  
5月



## 市内他大学のボラ室・ボラセン学生スタッフとの情報交換の場 他大学交流企画

◆8月10日 / いちようの館多目的 ルーム

- 「神大・フェリス・横市 ボラ室・ボラセン学スタ交流会」/ Volunch6名参加
- 2017年度に始まり今回3回目の開催となった交流会。ボランティアに対する姿勢や考えを共有できる機会である反面、3大学のスケジュール調整が難しいという課題がある。3大学合同で実施可能なイベントを考え、後半はメリットを活かしながらデメリットを解決するような企画をそれぞれ発表した。意見交換に集中したせいか、6時間半という時間もあっという間だった。

Volunch  
活動  
8月



## 日本文化を伝えて、オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！ 創作紙芝居上演活動&はまっ子ワークショップ

◆8月27日 / 横浜市立金沢小学校はまっ子ふれあいスクール

- 「横浜紙芝居普及会による創作紙芝居上演サポート」/ Volunch5名参加、小学生50名参加
- 「切り絵ワークショップ」/ Volunch5名参加、小学生50名参加

オリンピック・パラリンピックの機運醸成のために紙芝居上演活動をしている、横浜紙芝居普及会の山下さんが創作した3つの物語に、本学美術部の学生が絵を描いて紙芝居が完成。今回Volunchの学生は地域の子どもたちに向けて、その紙芝居の上演活動のサポートと、日本文化であるちぎり絵のワークショップを行い、子どもたちとの楽しい交流ができた。

Volunch  
活動  
8月







ボラサポ REPORT 9月

台風の間を縫い、八景島シーパラダイスで開催！  
横浜シーサイドトライアスロン

- ◆9月30日 / 八景島シーパラダイス
- 受付・誘導・フィニッシュテープボランティア / 9名参加
- 写真撮影ボランティア / 6名参加

台風の影響で開催が心配されたが、競技開始の頃には陽も出てきて絶好のトライアスロン日和となった。急なスケジュールや競技内容の変更もある中、選手受付、誘導、健康チェックシートの配布、フィニッシュテープなど臨機応変にやるべきことを考えて活動。

親子参加が多い種目では、フィニッシュテープを低めに持つ工夫をするなど、学生にとってオリンピック・パラリンピックボランティアに向けて良い経験となった。

完走者と感動を共に！  
横浜マラソン 2018

ボラサポ REPORT 10月

- ◆10月28日 / 臨港パーク、パシフィック横浜、その他
- 一般ボランティア / 42名参加
- BLS(救護)ボランティア / 9名参加
- エコステーションボランティア(環境ボランティア Step Up) / 6名参加
- パフォーマンス / (5団体約50名参加)

気温も上がり好天の中で開催された大会で、一般ボランティアは、中止となった2017年大会に申し込んでいた約28,000名のランナーに、2017年のメダルをかける役割を務めた。全員が初参加ということもあり、実際の動きがわからず、開始早々から試行錯誤しながらの活動となったが、多くのランナーの達成感溢れる姿に、ボランティアも感動を共有できた。



ボラサポ REPORT 11月

ボラサポ REPORT 年間

障害のある学生へのピアサポート活動  
バリアフリー・サポート活動

- ◆YCUスクエア・ステューデントオフィス、その他
- 授業外のサポート活動 / 5名参加

同じ市大生として、障害のある学生の授業外サポートをする活動。2018年度はサポートの必要な学生に対して、空きコマを使って授業内容の復習や、わからない箇所の説明、宿題やレポート作成のサポートなどを行った。

また学習に関することばかりでなく、趣味や学生生活の話や、本人の体調に気を配りながら楽しく共有した。春休み中には、関係者で集まって交流会を開催した。



ワークショップと4年生のプレゼンを参考に、ボラ活動を探そう！

ボランティア支援室主催  
「ボランティアをキャリアにつなげるワークショップ」

- ◆11月27日 / YCUスクエア・ピオニーホール
- 11名参加

自分自身を見つめながら、興味・関心のあること、やりたいことを洗い出して、それをボランティア活動と結びつけるワークショップを開催。また、就活が終了したVolunchの4年生5名がロールモデルとして、ボランティア活動で得た学びをどのように就活に活かしたかプレゼンした。参加者には、ワークショップと先輩の話参考に、今後やってみたい活動をリストから探してもらった。



YCUSCIENCEらいげーす

事務局としてサポート  
2018年度 学生が取り組む  
地域貢献活動支援事業

- ◆ボランティア支援室が事務局となっている助成金事業 / 10団体が採択

本学では2011年度から、学生による地域の課題解決に向けた優秀な企画・活動・提案・プロジェクトに対して助成金(2018年度は上限10万円)を交付しており、ボランティア支援室がその事務局を担っている。8年目となる2018年度は「科学倶楽部」「YCU SCIENCEらいげーす」「横浜市立大学医学部 YDC」「三浦半島研究会」「つちのこファーマーズ」「並木・青葉プロジェクトチーム」「RESTART本牧プロジェクト」「看護学科いのちの授業グループ」「JNZ (Joyful N Zippy students)」ボランティア支援室学生スタッフオリンピック・パラリンピックグループの10団体が採択され、活動した。



看護学科いのちの授業グループ



医学部YDC

サッカー J3 リーグの公式試合をサポート  
第3回 ボラツアー「Y.S.C.C. ホームゲーム」

- ◆11月24日 / 三ツ沢競技場
- 2018年度最終戦試合運営サポート / 5名参加

本牧をホームタウンとする「Y.S.C.C. (横浜スポーツアンドカルチャークラブ)」の2018年度最終試合で、グッズ販売や荷物チェック、またこの日ラストゲームとなった樋口監督に向けたメッセージを観客席を回って集める活動などを行った。サッカーを見るのが初めてという学生もいる中、一緒に活動した一般のボランティアの方からの優しいことばや、サポーターたちの熱気に触れることができ、貴重な経験となった。



Volunch 活動 11月

Volunch 活動 1月



医学部学生団体 YDC とのコラボで、講座 & 応急手当を実践  
スポーツ・ボランティア講習会

- ◆1月12日 / YCUスクエア・ピオニーホール
- 地域・他大学にも周知 / 一般17名参加、Volunch5名参加、YDC10名参加

医学部学生団体 YDC と Volunch がコラボして、スポーツ・ボランティアの現場で起こりうる、医療に関するリスクの対策講座を開催した。もちろん東京2020オリンピック・パラリンピックのボランティア現場も想定しており、前半の講義では、いざという時の対応方法を学んだり参加者による意見交換を行った。後半のケースワークでは、6つの例を挙げて応急手当の実践を行い、参加者からもためになったとの感想をいただいた。